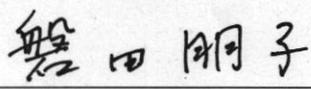


# 会 議 録

会議の名称	令和6年度第2回上尾市環境審議会	
開催日時	令和7年2月14日(金) 14時00分～16時00分	
開催場所	上尾市役所行政棟7階 大会議室	
議長(委員長・会長)氏名	磐田 朋子(会長)	
出席者(委員)氏名	小川 早枝子、島津 秋男、平田 通子、海老原 直矢、宮本 利章、 栗原 邦夫、市村 英一、松本 弘子、新井 力、生井 圭子、 長谷川 繫、鈴木 敏資、安田 信一 (オンライン出席) 田中 充 以上15名	
欠席者(委員)氏名	佐藤 正太、前 真之、吉田 彬、矢田部 隆志	
事務局(庶務担当)	【上尾市】 環境経済部 藤田部長、田中次長 環境政策課 大竹課長、櫻井裕ゼロカーボン推進室長、大橋主査、 櫻井良介主任、中村主任、友光主任 【株式会社 ナレッジリーン】 水野 徹哉、松田 愛久美、緒方 奈央子(オンライン出席)	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	(1) 開会 (2) 委員紹介 (3) 議題 ①令和5年度上尾市環境年次報告書(案)について ②第3次上尾市環境基本計画改定に関する中間報告書(案)について (4) その他 第3次上尾市環境基本計画改定スケジュール(令和7年度)について (5) 閉会	①② 原則案の通り進めるが、当審議会の意見をもとに事務局側で検討・調整・変更
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 1 名
会 議 資 料	(1) 令和6年度第2回上尾市環境審議会次第 (2) 資料1 令和5年度上尾市環境年次報告書(案) (3) 資料2 第3次上尾市環境基本計画改定に関する中間報告書(案) (4) 資料3 第3次上尾市環境基本計画改定スケジュール(令和7年度) (5) 上尾市環境審議会 委員名簿(第15期) 【配布】 (6) 資料4 第3次上尾市環境基本計画 業務指標 修正一覧【対照表】 (7) 資料5 第3次上尾市環境基本計画 実行施策 修正一覧【対照表】 (8) 令和6年度第2回上尾市環境審議会 席次表	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。		
2025 年 3 月 14 日		
議長(委員長・会長)の署名		 <hr style="width: 100%;"/>
議長に代わる者の署名 (議長が欠けたときのみ)		<hr style="width: 100%;"/>

## 議事の経過

### 議事① 令和5年度上尾市環境年次報告書（案）について

→原則案のとおり進めるが、当審議会の意見をもとに事務局側で検討・調整・変更

#### 《議事要旨》

- 事務局より資料1、4、5により説明。
- 審議の結果を踏まえ、2023（令和5）年度上尾市環境年次報告書としてとりまとめて年度末に公表予定としている。

#### 《質疑応答》

発言者	議題・発言内容・決定事項
鈴木委員	資料1 p.7に「③関連するSDGsの項目」とあり、各ページにも該当する項目のイラストが掲載されている。しかし一般市民からするとSDGsとは何か分からないという方が多いと想定される。SDGsについての説明が必要ではないか。少なくとも用語集にSDGsの趣旨や狙いを追記したほうが良いと考える。若しくは7ページに入れることも考えられる。
事務局	資料編などに追加する等で対応したい。
鈴木委員	資料1 p.44にエコアクション21についての記載がある。私は本アクションの判定に関わる業務をしていたことがあるが、省エネなどにつながり、実施してよかったという意見が多かった。 取得方法の説明に留まらず、市内で実際に取組んでいる事業者の成功事例や失敗事例についても説明会で触れてはいかがか。
事務局	令和6年度の説明会では制度の説明だけでなく、事業者の取得事例なども紹介させて頂いた。来年以降も事例を紹介していきたい。
鈴木委員	資料1 p.56の晴れマーク部分の内容について。3行目に「対策を強化した点は評価できます」という表現があるが、評価というのは実施者が自ら行うものではない。「対策を強化した」でいいのではないか。また5行目の「適時に必要な周知や指導を行えています」も「指導を行っている」でいいのではないか。表現に違和感を覚える。
事務局	表現を再検討し、必要に応じて修正したい。
市村委員	資料4 自然との共生のNo.1、2「実際に取り組んだこと」について。生産緑地の解除が発生した結果、従来を維持するために奨励金を支払ったという内容など、本来の目的とそれに対する取組、結果がちぐはぐな印象を受ける。この取組を見ると予算の使い方として本当に効果があるのかと感ずる。
事務局	本内容は実際に実施した内容として記載している。計画の趣旨に沿った適切な表現を担当課に確認し再考したい。
安田委員	①資料1 p.35の地産地消の取組みについて。昨年、市役所1階に農産物の自販機を設置した。従来のものに加え最新の取組みも記載したほうが

	<p>いいと考える。自販機の設置について効果は出ているのか。</p> <p>②資料 1 p. 49 カーボンオフセット事業について。CO<sub>2</sub>吸収量 6 t の妥当性を教えてほしい。この数値は検証がされているのか。またこのオフセットされた CO<sub>2</sub>を何に活用しているか教えてほしい。</p> <p>③木と CO<sub>2</sub>の関係性のイラストに、木が 23 本、160 本とあるが単位がなく、漠然としており納得ができない。</p> <p>国が試算している CO<sub>2</sub>排出量では、1 年間の排出量を人口で割り、1 人あたりの数値を出すなどしており、年度によって方法が異なる。このコラムの記載には数値の裏付けがないので、何を示しているのか理解ができない。</p>
事務局	<p>①については、市役所 1 階の市民ピロティで地元農家の野菜を自動販売機で売るとい取組みが漏れているので追記する。</p> <p>②についてだが、約 600 万円かけて森林整備を行い、6 トンの CO<sub>2</sub>吸収量を得た。太陽光発電で CO<sub>2</sub>削減を行う場合、そのコストは 1 t あたり約 130 万と言われているため、太陽光発電と同程度の価格ということを確認している。</p> <p>③内容を整理して、裏付けがわかるように修正を検討したい。</p>
磐田会長	市役所 1 階での野菜販売は好調か。
事務局	予算計画に対し売り上げは順調である。1 日 3～4 回野菜を組み替えている。
安田委員	特定の農家のものしか扱っていないが、理由はあるのか。
市村委員	新規就農 3、4 名の農産物を扱っている。地産地消＋新規就農者を知ってもらおうという取組みである。
安田委員	取組をより広げることにはできないか。
事務局	駅などへの自動販売機の増設も検討しているが、販売を担当する団体が必要である。市庁舎の販売機は福祉団体が運用しているが、このような運用管理をしてくれる団体があるかという問題がある。
海老原委員	<p>①資料 1 p. 8 などのグラフについて。数値がないものについては、ゼロ表示はせずに表示しない形にしてはどうか。</p> <p>②資料 1 p. 56 の進捗管理の内容について。項目ごとに達成、未達成の状況が書かれているが、「低炭素社会の構築」のみ未達成の内容がないため、追加したほうがよい。</p> <p>内容によって、達成できなかったため別の取組を行ったという記述や、達成できなかった理由が書かれていないもの、達成できなかったけれども今後も継続していくという表現がみられる。本欄は各課の意見を集約して作成されているため、項目ごとに表現が違うのかもしれないが、達成できなかった内容については、達成できなかった理由や課題点を書く等、表現を統一した方がよい。</p>
事務局	<p>①グラフについては、ゼロの部分は削除する形で修正する。</p> <p>②p. 56 の雨模様の箇所については、低炭素社会構築の内容が漏れていたため追記する。また表現については、同じ基準、目線で表記を統一したい。</p>
平田委員	①緑が減っていて心配している。しかし減少をどうするのかということに触れられていない。評価のため書かれていないのかもしれないが、対応を知りたい。

	<p>相続税の関係で緑が減ってしまうというのは仕方がないことかもしれないが、電柱への倒木の危険性があることから、駅前の街路樹が切られ、街のメインストリートに街路樹がない。この状況を心配する声も聞いている。何か対策がとれないのか。</p> <p>②資料1 p. 43 の業務指標に太陽熱や太陽光の利用があるが、賃貸住宅などで対応できない住民もある中、この指標で評価していいのか。一方、断熱改修の取組が進んでいるが現在の評価にはない。どのように考えるか。</p>
磐田会長	業務指標の設定そのものについてのご意見である。
事務局	<p>①みどり対策について。みどり公園課と連携して緑を残していきたいと考えている。中々施策が出ていない状況ではあるが、協議をして残せるような形で進めていきたいと考えている。</p> <p>②現行計画を策定した際には取組んでいなかったのが、断熱改修の記載をしていなかった。次の議題になるが、計画改定にあたって必要な指標を検討していきたい。</p>

## 議事② 第3次上尾市環境基本計画改定に関する中間報告書（案）について

→原則案のとおり進めるが、当審議会の意見をもとに事務局側で検討・調整・変更

### 《議事要旨》

- 事務局より資料2により説明。
- 第3次上尾市環境基本計画改定に関する中間報告書（案）について、計画指標や業務指標の達成状況について、主だったものを説明。

### 《質疑応答》

発言者	議題・発言内容・決定事項
海老原委員	<p>①3-2 改定計画策定の視点について。計画指標8つのうち7つが未達成だということだが、後期に向け、なぜ未達成かを検証したほうが良いと考える。記載ができるのなら記載していただきたい。新しい取組を行うことは良いと思うが、審議会でも示してほしい。</p> <p>②指標の見直しについてだが、各課から評価しやすい、数値化しやすいものが吸い上げられ指標となっている。外部的にこの指標が評価として適切なのかということ、専門的な視点から検証した上で見直しを行わなければ、同じ課題が繰り返し発生することになるのではないかと。</p> <p>第二次環境基本計画から第三次に改定される際に同じような意見があったため、今回の改定では対応してほしい。</p>
事務局	<p>次回の審議会までにたたき台を作成し、委員の皆様にお示ししたうえで審議いただきたい。</p>
平田委員	<p>p. 3-4 について。満足度が人の主観的な数値と想定される場合に、平均3より高い、低いという形で評価することは適当なのか。また、住んでいる場所によって意見も異なると思う。</p>

事務局	p. 3-4 は市民アンケートを元にして算出した結果である。どのような内容や回答者数で信ぴょう性ができるかということを示すのは難しいが、あくまでも現在市民が関心のあること、関心がないため今後取組を強化していかなければいけないのはどこか、という点を確認するための情報である。
平田委員	アンケート調査は前回と同じ項目で調査したのか。
事務局	基本的には前回と同じ項目を使用した。必要に応じて項目を修正・追加した。地区の人口割合に応じて調査票を配布しているので、大きな偏りはないと考える。
磐田会長	業務指標は定量的な指標。それに加えて市民の意向などをチェックするためにアンケートをとっているということ。
長谷川委員	p. 3-9 の野焼きパトロール回数について。業務指標の修正一覧にもあるが、野焼きパトロールだけでなく、個別の通報への対応が増えているということがわかる。 個別通報に対応し、指導などもされているのであれば、パトロールの回数だけでなく、個別指導の回数も入れてもいいのではないかと考える。
事務局	市民からの通報を受けて生活環境課が野焼きを確認している。そのような事例とご意見を踏まえて指標を検討したい。
桑原委員	p. 3-22 に、「市民・事業者の取組み例の提示」とある。 このときアンケートの p. 2-41 をみると、製造業者はごみの分別・リサイクルなどに大いに関心があるとされている。そのため製造業者がどのような取組をしているのか紹介したほうが良いと考える。 またアンケートの回答割合が高いのは建設業であることから、建設業での先進的な事例などを紹介したほうが良いのではないかと考える。
事務局	ご意見として承る。
鈴木委員	基本計画改定の目玉（重点）は何になるのか。
事務局	改定にあたり、従来どおりの見直しに加え、気候変動に対する対策を目玉として追加する。
鈴木委員	ローカルではなくグローバルな環境問題が人類に関わってくると感じている。自然災害への対応が増えることから、環境政策課の範疇だけではなく、国でいうと国交省の管轄、施設管理担当の負担が大きくなるという印象を持っている。
事務局	気候変動対策は多岐にわたる。環境政策課だけではなく、部局横断的に様々な分野と協同し、実施していく。熱中症や気候変動に耐える作物の作付けなど、全体的な内容は環境政策課がとりまとめをするが、各課と連携して対応していきたい。
安田委員	①p. 3-21 の「気候変動に適応するレジリエントなまちづくり」について。熱中症より冬季のヒートショックによる死亡率のほうが高い。両季節で対応が必要なのではないか。クールオアシス等の冬季版として暖房施設がある場所をオープンにするなど、夏と同様に冬の対策も実施していくのはいかがか。 ②2024 年に建築物省エネ法が改正された。省エネ基準適合が義務化され、建築物の消費エネルギー量の評価が必要になった。住宅も家電と同じくラベル付けされる状況になってきている。 上尾市では年間 1,200 戸程度の建築物が新築されており、2050 年にゼ

	<p>ロカーボンシティを目指す上尾市にとって住宅の脱炭素化が鍵になると考えている。既存住宅の断熱化だけでなく、新築住宅の ZEH などへの切り替えなど、新築住宅への規制や義務化なども指標にして取り組んでもらえるとよい。</p>
田中委員	<p>改定計画の考え方について。現行計画から何を継続するのかと、新規性の観点が大切である。継続性と新規性の整理をしてはどうか。</p> <p>このとき市の基本構想や総合計画との整合、連携が重要だと考える。環境計画単独のものとならない方がよい。</p> <p>望ましい環境像は継続でいいと思うが、時代の状況や市の環境の状況も重要であることから、微調整をしてもよいと考える。</p> <p>「3-2. 改定計画の策定にあたっての考え方」での各方向性だが、いずれも横文字が入っている。順番、構成は国の環境基本計画と方向性を合わせていると思うが、市の方向性が重要ではあるので、まずは市としてどうするか、順番はこれがいいのかなど検討していただきたい。ウェルビーイングは市政でも取り上げられているのか。国の政策を参照するのは良いが、あまり国の施策に引っ張られなくてもいいと考える。</p> <p>改善強化する課題と現状維持する課題。達成出来たため、優先度を落とす課題。これらを整理し、新しい時代背景を踏まえた上で施策体系を作っていければよいと考える。</p>
磐田会長	<p>望ましい環境像の見直しの必要性を論点としてあげるかどうかはまず一点。</p> <p>p. 3-20 にある新しい観点が、市の総合計画のなかでどのように位置付けられているのか、優先順位はこれでいいのか、国の政策にあまり引っ張られることなく、市としての望ましい環境像を重視して改定を進めていけばいいのではないかと。</p> <p>また細かい点では、それぞれの施策について継続・新規など何らかの優先順位を決めて、整理するという点である。p. 3-20 の箇所には、そのような観点が記載されていないので、市としてのやるべきことを追加してはどうかというご意見だった。</p>
事務局	<p>安田委員からの ZEH 住宅の普及、既存住宅での断熱改修だけではないというご意見について。</p> <p>改正建築物省エネ法では、断熱等級 4 以上が義務化になるが、これは ZEH 基準からみると低い水準である。ハウスメーカー等とも協議しながら断熱等級も引き上げられるように検討したいと考える。</p> <p>シェアスポットなどの冬季版についても検討していきたい。</p>
市村委員	<p>緑地減少の問題については、林の管理にお金がかかるという課題がある。送電線周辺の樹木を高い経費をかけ伐採するなどである。所有者が高齢化し、子孫に樹林地を残せないという問題もある。市が管理したくても予算がなく出来ない。</p> <p>また休耕地を無くすという趣旨から、営農型太陽光発電を行い、農地内の樹木が伐採されるという例もみられている。山林が事業者購入され、太陽光発電設備が設置されている例もある。樹木を残すための予算作りも必要なのではないかと。</p> <p>ペロブスカイト太陽電池のコストが下がり、大型化が可能になったら、上尾市に積極的に導入してほしい。そのための予算化も検討していただきたい。先進事例として掲げられるような取組を進めてほしい。</p>

事務局	緑地保全については担当課と調整していく。またペロブスカイトの導入促進についても検討を進めていく。
小川委員	総合計画との整合という意見がだされており、これに同意する。 環境問題はだれか個別の問題ではなく、全体の責任でかつ緊急の事態となっている。本会でも様々な専門家が参加して議論をしている。 現在行われている総合計画の見直しについても、環境審議会から声をあげていただきたい。
事務局	ご意見として頂戴する。
平田委員	環境教育・環境学習の推進について。将来に渡って環境活動を継続するために人材育成確保を図るとあるが、取組んでいる内容をみると環境美化推進委員などに限定されている。ごみだけでなく、環境全般について取組んでいく必要がある。 役職で携わっている人だけでなく、幅広い市民がリーダーになることが重要である。杉並区などで環境市民会議を作り、取組が広がっているという話も聞いている。今後リーダーになる人を拡大させていく計画を検討して頂ければと思う。
事務局	要望として頂戴する。

#### その他（４）の内容について

##### ① 第3次上尾市環境基本計画改定スケジュール（令和7年度）について

→原則案の通り了承。

##### 《議事要旨》

- 事務局より資料3により説明。
- 令和7年度は骨子の審議、素案の審議・諮問、パブリックコメントを行い、答申後の令和8年度末に改定版を公表予定。
- 質疑は特になし。

以上